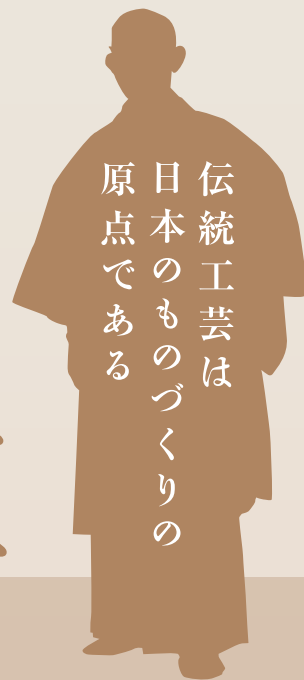


開館10周年記念特別展

幸之助と 伝統工芸

伝統工芸は
日本のものづくりの
原点である



KONOSUKE MATSUSHITA AND JAPANESE TRADITIONAL ART CRAFTS



2013年4月13日(土) — 8月25日(日)

| 前期 | 4月13日(土) — 5月28日(火) | 中期 | 5月30日(木) — 7月9日(火) | 後期 | 7月11日(木) — 8月25日(日)

休館日: 水曜日 開館時間: 午前10時より午後6時まで(入館は午後5時30分まで)

主催: パナソニック 汐留ミュージアム、日本経済新聞社 後援: 港区教育委員会、公益社団法人日本工芸会

協力: 東京国立近代美術館、裏千家今日庵 特別協力: 公益社団法人日本工芸会近畿支部

入館料: 一般700円 / 65歳以上600円 / 大学生500円 / 中・高校生200円 / 小学生以下無料

*20名以上の団体は100円割引 *障がい者手帳をご提示の方、および付添者1名まで無料でご入館いただけます

図版: 左/黒田辰秋《金鎌倉四稜茶器》、1965-72年頃 中/三輪休和《萩茶碗》、1967-74年頃

右/森口華弘《胸織縮緬地友禅訪問着 早流》、1961年、東京国立近代美術館



パナソニック 汐留ミュージアム
ルオーギャラリー

Shiodome
Museum
ROUAULT GALLERY

THANKS
10TH
ANNIVERSARY

開館10周年記念特別展

幸之助と伝統工芸

KONOSUKE MATSUSHITA AND JAPANESE TRADITIONAL ART CRAFTS

伝統工芸は日本のものづくりの原点である



「経営の神様」と呼ばれる松下幸之助(1894-1989)が文化に理解を示し、支援していたことはあまり知られていません。美術品を見る目は持ち合わせていないと言いつつも、実際には、絵画から工芸作品にいたるまで美術品を収集したり、日本工芸会などの団体の役員を務めるなど、文化支援活動を行っていました。本展では、このような松下幸之助と伝統文化との関わりをご紹介します。

松下幸之助は「素直な心」を生涯大切にしていますが、その「素直な心」を育てる道が茶道にあると考えようになりました。そして茶道具に触れるうち、その関心は工芸家に向けられるようになったのです。陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形、截金など、さまざまな素材を駆使し、伝統的なわざを絶やさず時代の息吹を取り入れることによって成立する日本の工芸作品。松下幸之助は「伝統工芸は日本のものづくりの原点である」と確信し、このような作品を作り出す工芸家を支援することで、「ものづくりの心」を未来に伝えていきたいと考えました。

本展では、松下幸之助と茶道の出会い、またどのように「素直な心」を昇華させていったのかといった点を導入としてご紹介し、次に、関西の工芸家を通じて関心を寄せ、展示を目的として収集した重要無形文化財保持者、いわゆる人間国宝を中心とした作家たちの作品を紹介いたします。松下幸之助ゆかりの工芸作品を一堂に会し、松下幸之助の文化的側面に触れる絶好の機会となります。



十二代黒田正玄《裏千家 十四代無限齋宗室好一重切花入 銘末廣》、1945-54年



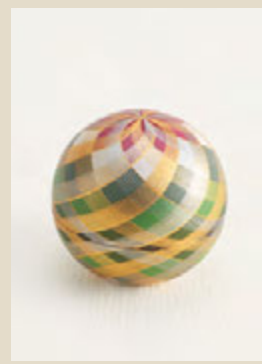
角谷一圭《芦鷺地紋真形釜》、1961年頃



石黒宗磨《彩壺壺 晩秋》、1959年頃



大場松魚《平文南飛色紙箱》、1984年頃



江里佐代子《截金彩り色香盒》、2003年頃



堀柳女《嘉納》、1981年



二代前田竹房齋《萌生花籃》、1978年



芹沢銈介《型絵染字入四季文様屏風》、1954年頃

*表面森口華弘作品以外の掲載作品は全てパナソニック株式会社蔵 *作品展示期間はホームページでご確認ください

関連イベント

◆講演会 *いずれも聴講は参加無料ですが本展の入館券が必要です

「松下幸之助と伝統工芸」 森口邦彦(染色家、重要無形文化財「友禅」保持者)、
聞き手 諸山正則(本展監修者、東京国立近代美術館主任研究員)

4月14日(日) 午後1時30分～3時 パナソニック東京汐留ビル5階ホール 定員150名

「松下幸之助と茶道」 鵬雲斎千玄室(裏千家第十五代前家元)

4月27日(土) 午後1時～2時 パナソニック東京汐留ビル5階ホール 定員150名

◆ワークショップ *参加費は当日受付時にお支払いいただきます

「世界で一つだけの竹の花かごを作ろう!」 田辺小竹(竹芸家)

[大人向:18歳以上] 7月6日(土) 午後1時30分～4時 パナソニック東京汐留ビル5階ホール 参加費1,000円

[子供向:小5～中3] 8月3日(土) 午後1時30分～4時 パナソニック東京汐留ビル5階ホール 参加費500円

いずれも下記の方法でお申し込みいただけます。申し込み受付開始日はWebサイトにてご確認ください。

A 汐留ミュージアムWebサイト <http://panasonic.co.jp/es/museum>

B パナソニック 汐留ミュージアム受付(休館日および展示替期間を除く)

*受付は先着順、定員になり次第締め切らせていただきます *定員に達しなかった場合、当日受付をする場合があります

◆学芸員によるギャラリートーク

5月25日(土)、6月22日(土)、7月27日(土) いずれも午後2時～ 参加無料(入館には本展入館券が必要です)、申込不要

なお、ルオーギャラリーにて、当館所蔵のルオー・コレクションの中から作品を展示しております。併せてご覧ください。

次回予告

モローとルオー ―聖なるものの継承と変容― 2013年9月7日(土)～12月10日(火)



JR「新橋」駅より徒歩約8分、東京メトロ銀座線・都営浅草線・ゆりかもめ「新橋」駅より徒歩約6分、都営大江戸線「汐留」駅より徒歩約5分

Shiodome Museum | ROUAULT GALLERY

パナソニック 汐留ミュージアム

東京都港区東新橋1-5-1 パナソニック東京汐留ビル4階
問い合わせ[ハローダイヤル] 03-5777-8600

<http://panasonic.co.jp/es/museum>